

【ケアセンターひだまり】 ICT導入成果報告

【訪問介護】の導入事例紹介



施設概要

設立年

2007年度

従業員数

20名

利用者数

65名

住所

草加市長栄3-46-1

ルミエール長栄207



導入前の課題

記録作業の効率化

紙の記録を手作業で確認し、実績を入力するのに手間と時間がかかっている



情報共有の効率化

頻繁に変更となるスケジュールの伝達が大変



書類の整理

紙媒体の書類をファイリング・整理する時間もない



導入した介護システムの概要

ソフトウェア名	カナミック
通信環境	全館無線
データ保存様式	クラウド型
利用端末	タブレット: 1台 ノートPC: 7台 スマートフォン: 15台 (今回導入) デスクトップ: 4台

導入スケジュール

年	月	内容
令和5年	6月	検討開始・検討チーム結成 ソフトウェアの検討・決定
	9月	ソフトウェア契約
	10月	本番運用開始
	11月	アドバイザー派遣

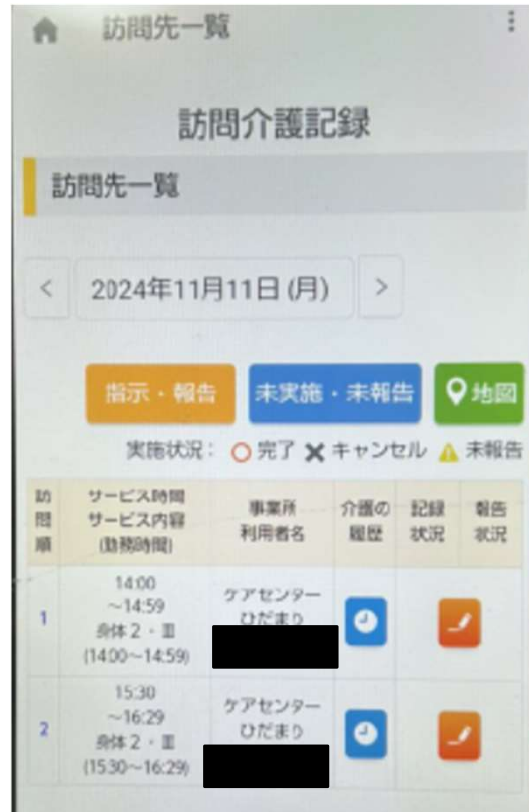
ICT導入・利用状況①

業務範囲	個別名	ICT化 (○/×)	ソフトウェア名	利用する職員
直接介護業務	利用者基本台帳	○	カナミック	サ責・事務
	アセスメント	○	カナミック	サ責
	ケアプラン	○	カナミック	サ責
	介護記録	○	カナミック	訪問介護員
	各種チェック表	×		
	家族への連絡	×		
	モニタリング	○	カナミック	サ責
	各種会議録	○	カナミック	サ責

ICT導入・利用状況②

業務範囲	個別名	ICT化 (○/×)	ソフトウェア名	利用する職員
間接業務	職員間チャット	○	カナミック	訪問介護員・事務
	スケジュール共有	○	カナミック	訪問介護員・事務
	掲示板	○	カナミック	訪問介護員・事務
	勤務表	○	カナミック	訪問介護員・事務
	業務マニュアル	×		
	事故報告	×		
財務	請求管理	○	カナミック	事務
	入金管理	×		
人事労務管理 支援	職員基本台帳	○	カナミック	役員・事務
	出退勤管理	×		

ICT導入後の運用方法



- 個人毎にデバイスを貸与することで、利用者宅で記録の入力ができるようになった。
- その場で入力ができるため、リアルタイムで利用者の状況の変化を共有したり指示出しが可能。
- 訪問スケジュールを変更すると記録と連動するようになり、情報共有が簡易になった。

↑ 実際に使用しているスマートフォン

ICT導入時による成果

残業時間の削減

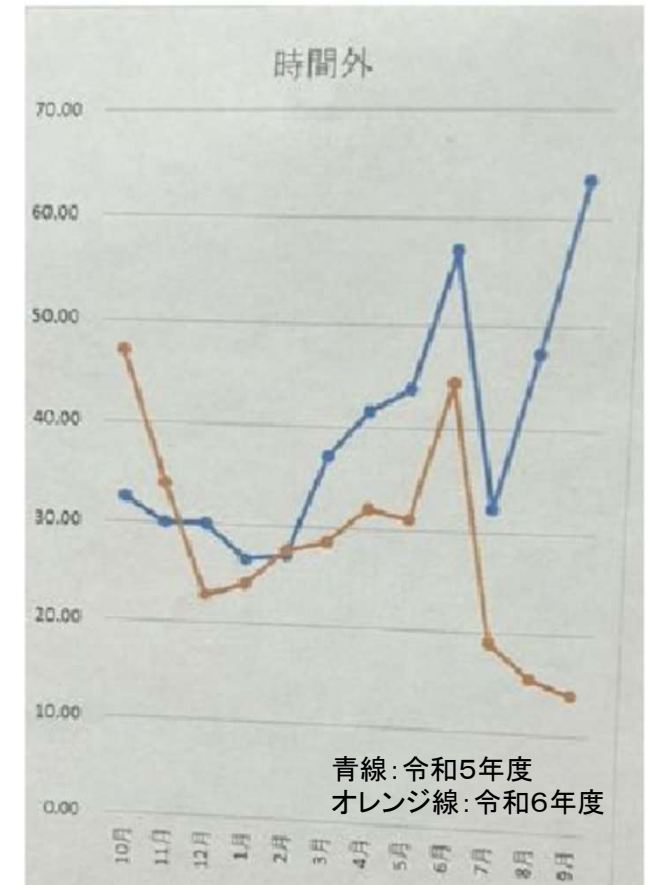
- 導入前: 468.25時間/年
- 導入後: 339.75時間/年 → 27.4%減(右グラフ参照)

紙の削減

- 170×170cmの棚が空に。
- その他業務日報や経過記録など約50%削減

訪問件数の増加・生産性向上の実現

- 導入前: 訪問件数 865件/月 スタッフ数 14人
- 導入後: 訪問件数 949件/月 スタッフ数 12人 → 27.4%増



導入時に苦労した点・工夫した点



苦労した点

- ①ICT・電子機器操作に不安のある職員へのサポート
- ②記録漏れ・事故をどう防ぐか？



工夫した点

- ①アドバイザーの派遣の活用や「柏モデル」を参考
- ②ICT化前の記録と見比べて丁寧に運用方法を検討

ICT導入後の感想

【施設長】

- ・記録の確認作業が効率化されたことで残業時間も激減。
- ・今後は災害時にも対応できるよう、各種情報やBCP等を保管していく予定。

【管理者】

- ・空き時間に記録の確認や指示業務ができるようになった。
- ・定期訪問も効率よく回れるようになった。

【介護職員】

- ・自分のタイミングで利用者様の情報が確認できるようになり便利。
- ・ただ、スマホだと画面が小さく見づらいことも。

お問い合わせ先

導入事例に関してお問い合わせいただく場合は、事業所に直接お問い合わせください。

連絡先 048-946-7236